

| | | | | | |
|----|----|----|----|---------|-------------|
| 教科 | 理科 | 学年 | 2年 | 標準授業時間数 | 105時間（週3時間） |
|----|----|----|----|---------|-------------|

| | | |
|--------|----------------|---|
| 目 標 | 教科目標 | 自然に対する関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。 |
| | 具体目標 (到達目標) | <ul style="list-style-type: none"> ・授業で扱う題材について、興味関心を持って取り組める。 ・観察・実験の用具の正しい使い方や、記録・分析が出来る。 ・観察・実験の結果から、法則性を見つけ、原理を理解し、それを使って色々なことに応用することが出来る。 ・学んだ内容についての語句・考え方を覚える。 |

| | | | | |
|--------|--------|--|-----|---|
| 評 価 | 観 点 | 自然事象への 関心・意欲・態度 | 25% | <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に興味や関心を持って、積極的に学習活動を行うことができる。 ・提出物を、きちんと完成し、期限を守って出すことができる。 |
| | | 科学的な思考 | 25% | <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験結果を考察し、自分なりの考えを持ち、表現できる。 ・学習した身近な事象の規則性・法則性を理解し、発展的な事柄について科学的な見方で考えることができる。 |
| | | 観察・実験の 技能・表現 | 25% | <ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験を正しく行い、自分の考えをまとめていくために、記録や分析が正しくできる。 ・ノートや提出物をきれいにまとめたり、発表ができる。 |
| | | 自然事象について の知識・理解 | 25% | <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容の、基本的な概念・原理・法則性が理解できている。 ・学習した内容の、基本的な語句・知識を身につけている。 ・基本的な計算や作業ができている。 |
| 材 料 | | 各種提出物の内容・ノート内容・定期テスト・小テスト・授業態度 | | |
| 方 法 | | 各評価材料を観点別に基準に沿って評価する。 それぞれの結果を総合的に判断する。 | | |

| | | | | |
|------------------|------|---|--|--|
| 学 習 方 法 | 使用教材 | 教科書1上・下と2上・下(啓林館)・学習ノート(広学) | | |
| | 学習形態 | 教室では主に一斉授業の形で進める。 実験・観察では、理科室で班ごとに席に着き各課題に取り組む。 必要に応じて教室外に出ることもある。 | | |
| | 学 校 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な事物・現象を実験・観察を通して、興味・関心を持って見る。 ・実験・観察の際には、実験器具を正しく使えるようにする。 ・実験プリントなどは丁寧かつ正確にまとめる。 ・教科書・モデル・図・プリントなどを使って、学習内容を理解する。 ・自分の考えを相手に分かりやすいように発表する。 ・黒板に書かれたことや、出た意見、分かったことを、復習できるように丁寧にノートにまとめる。 ・練習問題などによって、学習の定着度を確認し、不十分な内容は先生や友達に聞いて確認する。 | | |
| | 家 庭 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習した内容を、その日の内に復習する。観察・実験レポートも、その日の内にまとめ、気づき考察を自分の言葉で書くようにする。 ・基本的な語句などは、繰り返し書いたりして、確実に覚える。 ・各提出物を、計画を立て期限内に合うように仕上げる。 ・自分の理解した部分と理解できない部分を区別できるように、学習ノートや問題集の練習問題をやる。 ・安易に答えを見ないで、自分の力で解けるように粘り強く考える。 ・日常生活の中に、学習した内容が活かされていないかを意識して見つけようとする。 | | |

学習内容

| 月 | 単元名・主な項目 | 時数 | 学習のポイント |
|------|---|----------------------|---|
| 4 | 3動物の世界 1動物の行動とからだ 動物は外界のようすをどこで感じとるのか 刺激はどこを伝わるのか 動くためのしくみはどうなっているか 2動物のからだのはたらき 食物をどのようにして体内にとり入れるか エネルギーをどのようにして得るか 不要な物質はどのようにしてとり除かれるのか | 7 10 7 | 感覚器官のはたらき 刺激を受けて反応するまでの仕組み 骨格、筋肉のつくり 消化系のつくり 栄養の吸収、呼吸、血液循環 肝臓、腎臓のはたらき せきつい動物の分類 |
| 6 | 3動物のなかま | 7 | |
| 7 | 2電流 1電流の流れ 静電気を調べてみよう 電流が流れるのはどんなときか 電流は回路をどのように流れるか 電圧は回路の中でどのようにはたらくか 電流と電圧にはどんな関係があるか 直列回路や並列回路の抵抗はどうなるか 2電流のはたらき 電流による発熱や発光を調べよう 電流がつくる磁界を調べよう 磁界の中で電流を流してみよう コイルと磁石で電流がつくれるか | 16 13 | 静電気をおびた物質同士の力 直列回路、並列回路 電流計を使って計測 電圧計を使って計測 電流と電圧は比例する オームの法則 $V=RI$ 電熱線の発熱、ワット、ジュール 導線やコイルのまわりの磁界 電流の向き、磁界の向き、力のはたらく向きの関係 電磁誘導、誘導電流 |
| 10 | | | |
| 11 | 3化学変化と原子・分子 1物質の変化 炭酸水素ナトリウムと水はどう分解するか 物質は何からできているか 2物質どうしの化学変化 鉄とイオウはどのように結びつくか 酸素と結びつくとうなるか 化学変化にはどのようなきまりがあるか | 13 15 | カルメ焼きがふくらむ理由 水の電気分解 原子・分子 化合 燃焼、酸化 質量保存の法則 化学式と化学反応式 反応する物質の質量比は一定 |
| 1 | | | |
| 2 | 4天気とその変化 1気象を見る目 気象観測とはどのようなものか 2空気中の水蒸気の変化 雲はどのようにしてできるのか 3前線と天気の変化 天気はどのように変化するか | 7 9 8 | 天気図、雲画像の見方 気象観測のねらいと方法 露点、飽和水蒸気量、湿度 雲のでき方 気団と前線の構造 温暖前線、寒冷前線 天気予報の仕方 |
| 総合時数 | | 105 | |